

お客様への メッセージ

2012 **06** 月号

Contents

- ◎ 長期投資仲間へのメッセージ vol.63
『お金の失業から脱却を!』
セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓
- ◎ ゲストからの応援メッセージ
『想いがイノベーションにつながる』
ガイア株式会社 ファンド・アナリスト 吉井崇裕氏
- ◎ セミナー・イベント情報
・東証主催「+YOUニッポン応援全国キャラバン」
・「ゼロからはじめる投資のキホン」～投資の初心者さん限定～
・山手線ワンコインゼミナール「わたしのお金の育て方」～じぶん年金 ABC～
・セミナーレポート
「セゾン投信5周年記念「555セミナー」&交流会」(東京・日本橋)
- ◎ セゾン投信からのお知らせ
・買付・解約 受付不可日のお知らせ
- ◎ お客様データ
・口座数&年代別構成比
・今月の注目数値:「11⇒23」
- ◎ セゾン投信の素顔
メンバーが感じる日々の雑感

発行 セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会 社団法人投資信託協会
お問合せ先 セゾン投信お客様窓口 ☎03-3988-8668(受付時間9:00～17:00 土日祝、年末年始を除く)
<http://www.saison-am.co.jp>

■この資料は、セゾン投信の役員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



長期投資仲間へのメッセージ Vol.63

「お金の失業から脱却を！」

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

大銀行の失策

米国を代表する大手銀行 JP モルガン・チェースが、自己勘定取引の失敗で巨額損失を抱えていることが明らかになりました。

その中身はクレジットデフォルトスワップ（CDS）と言われる債務不履行リスクへの保険商品の売買によるもので、大量にリスクを傾けた結果、予測がはずれて生じた損失です。つまり本来銀行であればリスクヘッジの手段として使うべきものを、単に儲けようとギャンブルしていたのです。

しかもその手法は、低い格付け企業の CDS を買い持ちすると同時に、高い格付け企業のそれを売却していた。こうした利ザヤ狙いの戦術をロング・ショート・アービトラージと言いますが、これはヘッジファンドの手口と全く同じです。

世界的な潮流として、金融業界は規模を追及してコングロマリット化が進んでいました。証券・保険・運用などあらゆる業態を兼ね備えつつ、銀行同士が合併を重ねて、大手銀行はとても一体的に経営コントロール出来ないほどの規模になってしまいました。それはまさに、恐竜がその巨大化ゆえに滅んでいったいにしへの再現なのではないでしょうか。

銀行の役割

さて商業銀行の社会的存在意義つまり経済活動上の役割は何かと言えば、それは伝統的銀行業務、即ち私たち生活者が経済活動によって得た大切なお金を預金というカタチで受け入れ、それを貸出しに廻して再び経済活動の中に働きに出すことです。まさに経済活動の拡大再生産に資する金融機能であり、このことが銀行法第一条にしっかりと謳われています。

かように銀行は、その国の経済活動に必要な血液循環機能を担う重要な社会的責務を負っているがゆえに、自己資本規制というカタチで事業安定性を支える制約を課されているわけです。銀行とはそれだけ公共性の極めて高い産業であることは間違いありません。

メガバンクへの疑問

銀行が社会から要求される公益ミッションは産業界への融資機能でしょう。その融資スケールと審査能力こそが銀行間の競争力の源泉であり、それを財務安定性から担保するため厳格な自己資本比率の堅持が要求されます。

ところが JP モルガンのケースの如く、本業たる融資とは関係ない分野で甚大なる損失を被れば、自己資本は毀損し、その分だけ本業に支障をきたすことになるわけです。

米国はかつて銀行と証券の垣根を厳しく設けてそれぞれ参入規制していました。ところが或るときから世界の大銀行があらゆる金融関連業務を自ら手がけるようになり、近年は米国のメガバンクがすっかりウォール街の住人となっています。その事実として 2008 年のリーマンショックではシティバンクが実質倒産の憂き目にまで遭っています。

商業銀行がすぐに利益の得られるマネーゲームのプレーヤーとして浮利を追い、墓穴を掘った結果巨額の自己資本を失って、資本不足のツケは融資の縮小、日本でも問題になった所謂貸し剥がしへと

行動せざるを得なくなる。

今や証券から自己売買まで何でも手がけ、巨体をもてあましているメガバンクは、最早社会の公器としての在り方に鑑みると、社会的使命を満たせぬ本末転倒な存在に堕ちてしまったのかもしれない。

生活者による代替金融

世界のメガバンクは、バーゼルⅢと呼ばれる究極的に高いハードルの資本規制を国際的に課されることとなります。日本のメガバンクも同様です。ますます貸し出し残高は劇的に絞られることになるでしょう。

銀行が最早社会的本分を果たせなくなる。まして日本ではゼロ金利なのに預金が集まり過ぎた結果、銀行預金全体の3割が余剰となり、しかもその大半が国債で運用されている。民間の大切な預金がいとも簡単に官に吸い上げられているのです。

生活者の大切なはずのお金が経済に働きに出られなくて、ゼロ金利で利子も生まず大量失業が起っています。かように銀行が社会的使命を果たせないからこそ、我々生活者が投資というカタチで実体経済に血液たる資金を投入することに大変な意義があるのです。

とりわけ経済活動をどっしりと支える長期投資マネーは、銀行に代わる立派な代替金融の役割を担います。さあ皆さん！今こそ失業中のお金にカッコイイ仕事をしてもらいましょう！

(2012年6月1日記)

ゲストからの応援メッセージ

「想いがイノベーションにつながる」

独立系FP法人 ガイア株式会社
ファンド・アナリスト
吉井 崇裕氏



私は日頃、ファンドアナリストとして投資信託や運用会社を調査・分析しているが、この場を借りて白状しよう。実は独立系投信会社の全てが良しとは考えていない。投資信託は、投資家が長期的に資産を形成するためのツールだ。投資家が長期的に投資信託と付き合うためには、運用会社の経営体力、投資信託の純資産残高、運用の継続性がとても重要だ。そういう意味では、なかなか残高が積み上がり、会社の経営基盤が磐石とは言えない独立系の投信会社は、中長期的に投資家に不利益を被りかねない・・・そう考えている。もっともらしい崇高な運用哲学・経営理念だけでは解決できない現実がここにある。

そのような観点でセゾン投信を見ると、国内公募追加型投信の預かり残高は約500億円（2012年4月末現在）、その残高は国内の投信会社73社中46位と今や中堅どころに食い込む勢いだ。資産運用関連の親会社でもなく、何の後ろ楯もない独立系の投信会社が設立からわずか5年でこの残高を積み上げたことはまさに驚異的といえるだろう。しかも資金流入という観点では他社と比較して圧倒的な安定感がある。基幹ファンドはインデックスファンドであり、運用の継続性にも大きな問題はない。既存の運用会社の大半はまだ脅威とは感じていないかもしれないが、私はセゾン投信が大化けする

のではないかと密かに期待している・・・。

話は変わるが、とある日、中野社長との雑談の中で、実はセゾン投信のファンドを取り扱いたいといくつかの販売会社から引き合いがあるとの話になった。運用会社としては、販売会社の協力で残高が増えるならば万事OKだろう。残高が積み上がれば会社の継続性という観点でも投資家に安心感を与えられる。何も断る理由はない。私はそう伝えた。

しかし、中野社長はもろ手を挙げてOKとは考えていなかった。「販売会社を通すと、投資家の顔が直接見えなくなる可能性がある・・・」その想いを聞いたとき、私は感動を覚えたと同時に頭が下がる思いだった。日頃、多くの運用会社の経営陣、商品企画担当者、運用チームと議論しているが、そういう想いを聞いたのは中野社長が初めてだった。残高が増えれば、それでOKだろう・・・その発想はまさに既存の運用会社の考え方で、私もその発想に少なからず侵されていたことに気づかされた。「投資家の顔を直接見たい、想いを共有したい・・・」そこまで考えている運用会社は国内では希少な存在といえる。

話を戻そう。先ほど、大半の運用会社はセゾン投信を脅威と感じていないと申し上げたが、実はいくつかの会社はその取組みに注目している。各社は「なぜ投資家に支持されるのか？何か秘訣があるのではないかと？」と小難しく考えるが、そこには種も仕掛けもない。中野社長がやっていることは「ありのままの事実と想いを伝える」、要するに投資家に全てをさらけ出すことが支持されているのだ。親会社や販売会社としがらみがある既存の運用会社には難しいことかもしれないが、それをすることが投資家と運用会社に **win-win** の関係を後々もたらすのだ。したがって、既存の運用会社には、勇気をもってセゾン投信と同じような取組みに挑戦してほしいと切に思う。

セゾン投信への応援メッセージということだが、既存の運用会社への応援メッセージになってしまったようだ。。あらためて、セゾン投信への応援メッセージだが・・・何も言うことはない(笑) 強いてあげれば、これまでの想いを込めて、その想いを新しいビジネスモデルに昇華させて、預かり残高を積み上げてほしい。それが日本の投信業界に気付きをもたらすと信じている。受益者の皆様には、これからもセゾン投信を支えてほしい。投資家の意志ある行動が日本の投信業界をイノベーションに導くからだ。皆さんは今、その先頭に立っていると思う。

<プロフィール>

吉井 崇裕 (よしい たかひろ) ガイア株式会社 ファンド・アナリスト。

モーニングスター、三菱アセットブレインズにてファンド・アナリスト、国内投信運用会社にて販売および運用関連業務に従事。投資信託業界の販売・運用・評価分析という幅広い経験から業界の裏事情まで熟知し、投資信託の評価においては定量・定性分析に精通する。

2011年よりガイアのファンド・アナリストとして、国内約4,000本の投資信託を常時分析、年間数百件のポートフォリオの見直しを行っている。「全ては投資家のために」をモットーに「本当に良いファンド」を投資家に認知してもらうことに努めている。

日経マネー連載；マネーカレッジ「売れてるファンドはいいファンド？」

独立系FP法人 ガイア株式会社 <http://www.gaiainc.jp/>

セミナー・イベント情報

東証主催！「+YOUニッポン応援全国キャラバン」に参加します。

+YOU
一人ひとりがニッポン経済

東証主催のニッポン経済が再び元気を取り戻せるよう、これまで経済や投資に関心のなかった方々にも投資の意義を知っていただき、その魅力にふれていただくセミナー(全国 40 都市以上)にセゾン投信社長中野が参加します！


来年の3月まで各都市をキャラバンの予定です。8月以降の日程については、随時お知らせいたします。

日程	時間	都市	会場	最寄り駅
6月15日(金)	19:00~20:30	神奈川県横浜市	AP 横浜駅西口	横浜駅
6月16日(土)	13:00~14:30	千葉県千葉市	千葉商工会議所	千葉駅
6月30日(土)	10:00~11:30	静岡県浜松市	TKP 浜松アクトタワー-カンファレンスセンター	浜松駅
6月30日(土)	13:00~14:30	静岡県浜松市	TKP 浜松アクトタワー-カンファレンスセンター	浜松駅
7月7日(土)	10:00~11:30	新潟県新潟市	新潟駅前カルチャーセンター	新潟駅
7月7日(土)	13:00~14:30	新潟県新潟市	新潟駅前カルチャーセンター	新潟駅
7月20日(金)	18:30~20:30	愛知県名古屋市	栄ガスホール	栄駅
7月21日(土)	10:00~12:00	愛知県名古屋市	栄ガスホール	栄駅

※詳細、お申込みは、東証「+YOU」特設サイトをご覧ください。

<http://www.tse.or.jp/plusyou/index.html>

当社主催、共催セミナーのスケジュール <セミナーレベル ★:投資未経験者 ★★:初級 ★★★:中級>

【東京】新宿		山手線ワンコインゼミナール 「わたしのお金の育て方」~じぶん年金 ABC~ ほったらかしで本当にホントに大丈夫ですか？		
6月14日(木) 19:00~20:45	TKP 新宿ビジネスセンター11F スカイ会議室	参加費 500円	<草食投資隊> 渋谷 健氏・藤野 英人氏・中野 晴啓 <コーディネーター> 岩城みずほ氏(オフィスベネフィット代表)	
★	草食投資隊は山手線主要駅を回りみなさまと一緒に長期投資を語り合います！これから投資を始めたいビギナーからベテランまで、多くのみなさまにご参加頂きたいと思います。 今回のテーマは「ほったらかしで本当にホントに大丈夫ですか？」自分らしく生きるために、いくらあればいいのでしょうか？カー一杯働いて、お金を貯めれば老後は安泰という時代は終わりました。学校でも職場でも投資教育はしていませんが、これからは「じぶん年金」を作っていく必要があります。お金で人生を制約されるのはイヤだと思っみなさま、理にかなった「じぶん年金」の作り方を基本から一緒に学びましょう！			 草食投資隊 長期投資の入口

【東京】池袋		「ゼロからはじめる投資のキホン」～投資の初心者さん限定～		
★	6月21日(木) 19:00～20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン 60 37F)	参加費 無料	瀬下 哲雄 (セゾン投信運用部ポートフォリオマネージャー)
	毎回、人気のセミナーです。申し込みはお早めに！投資をはじめる前に知っておきたいポイントを凝縮してお伝えします。少人数でアットホームなセミナーですから、日頃なかなか聞けない基本的なことでも結構です。皆様からの質問にしっかりお応えいたします。			

当社以外の主催で、当社社員が講師として参加するセミナーのスケジュール

【富山】		若者に求められる大切な「力」とは？		
★	6月20日(水) 19:30～21:30	富山県民会館 705 会議室	学生 1,000 円(学生証のご提示をお願い致します。) 社会人 1,500 円	
	社長中野が、自分自身のチャレンジ(日本投信業界の常識を打ち破る直販・長期投資の普及)、その経緯や今後の展望について、また、投資を通じて世界各国の動向を知る「力」や、若者が持つ「時間」を武器にした長期投資による資産形成「力」についてお話いたします。			
【東京】青山		<コンサルタントによる個人別アドバイス付！> 3,000 万円もラクラク実現！？今と未来のための資産づくりセミナー		
★	6月23日(土) 13:30～16:30	エスタ青山 ルームF	参加費 1,000 円	<セミナー講師、コンサルティング> 森本 新児氏(株式会社フェアトラストコンサルティング代表取締役)他
	投資や年金の知識がなくても安心して始められるように、自分でつみため、将来自分で受け取る「じぶん年金」づくりのコツ、運用方法を分かりやすく解説します。さらに、意外と知られていない「確定拠出型年金」制度をご案内。社会保険料を節減し、税制優遇を受けられるチャンスです。今回限り、あなたに最適なライフプランをコンサルタントがアドバイスします。(希望者のみ・要事前予約)			

※ 主催者の都合により、開催の延期や見送りを行う場合がございますので、予めご了承ください。

詳細・お申込みは、ホームページ「セミナー情報」をご覧ください
<http://www.saison-am.co.jp/seminar/seminar.html>

お電話でのお問合せ セゾン投信お客様窓口
03-3988-8668(9:00～17:00 土日祝 年末年始を除く)



【セミナーレポート】

2012/5/12(土) 開催

セゾン投信 5 周年「555セミナー」～個人のチカラを活かすとき～

大勢のお客様にご来場いただき、ほぼ満員の日本橋の会場で、5 周年記念セミナーを開催いたしました。

第一部は、当社社長の中野から「5 年間で振り返るセゾン投信のストーリー」と題してセゾン投信を作るまでの苦労話、また設立後リーマンショックの時期など数々の苦難を乗り越えることが出来たのは、設定時より現在まで 62 ヶ月年間毎月資金流入というお客様に支え続けていただいた事実に他ならないと話し感謝の気持ちをお伝えしました。



交流会ではお客様よりお祝いのケーキが差し入れ



バンガードの加藤隆社長の講演テーマは、「バンガードのユニーク経営 一創業と成長の秘密」。米国バンガード創業当初は、80ヶ月連続資金流出という最悪の事態に見舞われましたが、世界初の徹底したお客様本位の企業理念が次第に人々の話題にのぼるようになり、ついにメディアが取り上げるようになりました。そしてそれが今も続いています。小さな火花が起こって、徐々に草木に燃え移り、ついには大火柱となって燃え上がった、バンガードと同じストーリーが、この日本でセゾン投信にも起こりうることを、お話をいただきました。

第二部はトークセッション。モーニングスター代表取締役 COO 朝倉智也氏、ファイナンシャルジャーナリスト 竹川美奈子氏、フォスター・フォーラム(良質な金融商品を育てる会)事務局長 永沢裕美子氏に加え、セゾン投信のアドバイザーでもあります房前督明氏をモデレーターに4人で70分間のトークセッションが繰り広げられました。テーマは「投資対象としての投信とは?」「業界の現状と、改善すべき点」「投資家の投信活用法」等。業界の現状は、今回、金融庁による金融審議会ワーキンググループの直近の会議に参加しているお二人から、運用会社、販売会社と投資家の間には圧倒的な利害の不一致がまだ存在しているとの指摘があり、業界全体が変わっていくのはまだ先になりそう、また個人投資家が投資とどう向き合きあい、利用するかというテーマには、やはり長期、分散、低コスト、また決断の機会が多いほど間違うため、ルール化して感情を排除し、また自分の年齢に応じてリスク資産の比率を変えていくことも必要とお話いただきました。



最後にセゾン投信に対する要望や感じていることをお聞きして、次の質疑応答の時間に移りました。トークテーマに加えて、ETFへの振り替え、401k やバンガード加藤社長の趣味である古民家について質問が及びました。時間の関係で挙手いただいたにも関わらず十分にお答えができず申し訳ございませんでした。

引き続き、経済倶楽部レストランで交流会を行い、40名の方にご参加いただきました。サプライズでケーキのプレゼントあり、セゾン&バンガードにまつわるクイズ大会あり、抽選会、懇談あり、盛りだくさんの企画で楽しいひとときをお過ごしいただけたのではないかと思います。

セゾン投信からのお知らせ

【買付・解約 受付不可日のお知らせ】(2012年6月5日~9月末日)

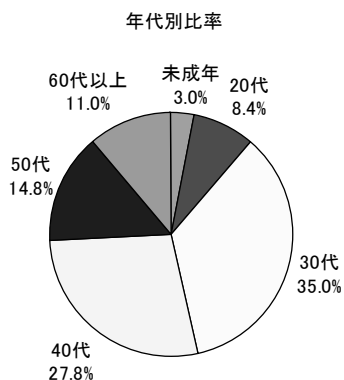
下記は2012年6月5日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	7月4日(水)、8月6日(月)、9月3日(月)、
セゾン資産形成の達人ファンド	6月5日(火)、7月4日(水)、8月6日(月)、 8月27日(月)、9月3日(月)、

上記は信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

お客さまデータ

セゾン投信 会員数 51,412 口座
(2012年5月31日現在)



※2012年5月末現在

今月の注目数字! 『 11 ⇒ 23 』

今月の数字は、話題のユーロ通貨を公式に使用している国の数の変遷です。

欧州連合における経済通貨同盟で用いられている通貨のユーロは、1999年1月からスタートした当初は11ヶ国。昨今お騒がせのギリシャも2001年1月から加盟国になりました。一言にユーロといっても国として人口も、経済力も異なり、最近では2011年旧共産圏のエストニア導入までの経済圏が創られてきましたから、一朝一夕に安定することはあり得ないでしょう。セゾン投信の運用する2つのファンドも国際分散投資のファンドとしてこうした流動性の影響を受けつつ、常に日々市場の動向を分析し、運用しております。こうした視点から、2つのファンドそれぞれの毎月の運用レポートをご覧頂ければ幸いです。

セゾン投信の素顔

「マイブーム」

山好きの友人に誘われて、毎年下草刈りや水辺のお手入れなどの森づくりに参加しています。先日人生初の田植えに挑戦し、米作りの大変さを思い知るようになりました。

森の棚田は土がやわらかく機械を入れることができないので、人手も時間も多くかかります。膝まで田んぼに埋まり、泥だらけになりながらの田植えは、私の予想をはるかに超える重労働でしたが、やっとの思いですべての田植えが終わり、山の中腹から見下ろした棚田はとてもきれいで、清々しく心洗われる風景でした。

夏が近づくと棚田ではホタルやハッチョウトンボを見ることができます。また新しい発見とささやかな感動を心待ちに、森づくりを楽しみたいと思います。

管理部 松村 里江子

「ダッフィー」

晴れた日には行楽地に出かけるのが楽しい季節です。行楽地といえば皆さん、熊のダッフィーをご存じですか?日本ではディズニーシーでしか買えない可愛いヌイグルミです。

私がダッフィーに初めて会ったのは、4年前の近所の神社のお祭り。籤引き屋台の1等の賞品になっていたときでした。実は最近まで、ディズニー直売であることを知らなかった為、街のお店とかでダッフィーを全く見かけないことが不思議でした。ディズニーは、魅力的な商品をつくって、直販のみでジワジワ浸透させ、今や定番といえる人気商品に育てあげたわけですから、これって、セゾン投信の目指すストーリーでもあります。目指せダッフィーです!

管理部 鹿山俊之



編集後記

5月は月初のゴールデンウィーク、中旬には弊社では「555セミナー」を開催し、翌月曜21日には日本全国が皆既日食の話題に湧き……、振り返ってみれば実稼働の短い営業日数の中で多くの話題に一喜一憂しました。そうした中で弊社の2ファンドは順調な資金流入と運用を続ける中、ドル安・ユーロ安の円高の影響を反映し、純総資産残高の減少となり、5月末はせっかく達成した500億円を下回ったことが本当に残念!!ただ長期投資の5年間はまだまだ序ノ口。これからも温かく見守って下さい。なお、先月12日(土)に開催いたしました『セゾン投信5周年「555セミナー」～個人のチカラを活かすとき～』のセミナーには多くの皆様にご参集いただき、誠にありがとうございました。お蔭さまで盛況に開催させていただくことができました。当該セミナーの様子については、本冊子のセミナーレポート並びに弊社ホームページお客様へのメッセージ社長ブログ「社長日記」もご覧下さい。http://www.saison-am.co.jp/blog/2012/05/post-688.html